

# スナップエンドウ

月	旬	作型	主要作業	栽培の要点	摘要
8	上 中 下	ハウス 露地	圃場準備 播種	1. 品種 ニムラサラダスナップ(協和種苗) 2. 圃場準備 耕起 : 根は深根性で、過湿には弱いので、深作と排水対策は十分に行う。 施肥 : 基肥は全面散布。BB園芸2号については播種7~10日前に施用する。その他については2週間前までに施用する。 畦づくり : 畦幅100~130cm 株間10~20cm 畦は排水性を考慮して、やや高畦とする。 マルチ張り: 土がある程度湿った状態で光反射マルチ(サニーマルチ等)を張る	基肥例(10a当たり・kg) 完熟たい肥 2,000 BB園芸2号 180 ミネリンパワー 100 油粕 100 N-26.6 P-30.6 K-22.6
9	上 中 下		間引き 支柱立て	3. 播種 播種量 : 1穴2~3粒 3 $\frac{1}{2}$ g/10a 播種法 : 覆土2~3cm程度にする。 乾燥しているときは十分灌水してから播種する。ただし、発芽不良や発芽後の子づるの発生不良につながるため、過湿にならないよう注意する。	
#	中		誘引 整枝 摘花	4. 整枝 主枝1本立てとし、脇芽は除去する。	
#	上 中 下		収獲 ビニール被覆	5. 支柱立て 支柱を2~3mm間隔で立て、ネットを張る。支柱の高さは1.5~1.8mにする。	
#	上 中 下			6. 誘引 エンドウネットを使用し、倒伏防止と収量アップを図るため誘引を行う。 草丈が伸びるにしたがい、ネットを挟み込むようにテープで誘引する。	
1	中 下			7. 整枝・摘花 13節までの側枝・花は落とし、樹勢維持に努める。	
2	上 中 下			8. 温度管理(ハウス) 寒害対策を実施するが、極端な保温は寒さに対する抵抗性が無くなるため、開放的な管理を行う。 (日中温度25以下)夜間もなるべく換気する。 厳寒期は、最低気温4~5を目標に保温管理を行う。	
3	上 中 下			9. ビニール被覆 最低気温が10前後になる11/上旬~中旬にかけて被覆を行う。 被覆が早すぎると徒長し、耐寒性が低下するうえ、着実数の減少・品質の低下をまねくので注意する。	
4	上 中 下			10. かん水・追肥 過湿・過乾にならないよう、週に1回程度を目途にかん水する。 草丈1~1.5mになったら通路かん水に切り替える。 追肥は樹勢を見ながらアサヒホーラスを10kg/10a程度施用する。 1回目.....結実開始期 2回目.....収穫始め 3回目.....2回目追肥後1ヶ月。その後1ヶ月おきに施用	
5	上 中 下			11. 収穫 莢の膨らみが1cm程度でガクをつけて収穫する。 収穫が遅れると樹勢が落ちるので、適期収穫に心がける。 (開花後2週間が目安)	ハウス内は開花期以降は少量かん水とする。 (灰色かび病予防)
6	上 中 下				
7	上 中 下				